

普及活動情勢報告（令和4年1月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

いの町吾北地区の更なるユズ生産振興にむけて ～優良系統(トゲなし)ユズ母樹園を活用した間伐・改植の推進～



ユズ母樹園となる網室

12月26日、いの町吾北地区にある農業公社にユズ母樹園の網室が完成しました。吾北地区での栽培面積は14haで農家の貴重な収入源となっています。

農業改良普及課では生産者の高齢化やユズ樹の老木化、密植対策として間伐・改植をユズ農家に推進しています。一方、トゲなしユズは生産性の高さから需要は大きいですが県下での苗木は供給不足になっています。そこでJA高知県コスモス柚子部会および関係機関に働きかけ、トゲなしユズ苗木の安定供給に向けた母樹園が設置されることになりました。

農業改良普及課は今後、トゲなしユズ母樹園の管理やいの町農業公社におけるユズ栽培の拡大を軸に新規就農者の研修体制を充実させるとともに、自動選果機や省力化機器の導入などをおしてユズ産地の振興に取り組んでいきます。

施設ズッキーニの収量及び品質の向上をめざして ～冬期作型における生育調査を開始～



調査は毎週行っています

JA高知県土佐市ズッキーニ部会では、年3作の作型のうち、低温期に当たる冬期作型の収量及び品質の向上が課題となっています。

農業改良普及課はJAと連携し、施設内温度及び着花数の推移等についての生育調査を開始しており、調査の経過は低温期の栽培管理指導に活かすなど、冬期作型の収量及び品質の向上に向けて取り組んでいます。

農業改良普及課では引き続き調査等を通して、関係機関と連携しながらズッキーニ部会の生産安定を支援していきます。

いっちょういったんコーナーでの「万能たれ3姉妹」販売に向けて！ ～アグリコレットでの商談会～



商品説明するクラブ員

12月17日、アグリコレットで、とさし旬物クラブの加工品である、たれ3種類について商談会が開催され、農業改良普及課はクラブ員3人に同行支援しました。

これまで開発支援してきた焼肉のたれ、生姜焼きのたれ、ねぎ塩だれを使ったそれぞれの試食品を持参し、クラブ員とともに商品の特徴などを説明しました。横山店長からは、セット商品の価格設定や試食販売の仕方などアドバイスをいただき意見交換しました。

クラブ員からは「セット商品が割高なので、単品の単価を見直して、セットがお得に感じるようにしたい」など、販売に向けて具体的な意見も聞かれました。

農業改良普及課は、今後もアグリコレットでの販売に向けて支援していきます。

競合産地のメロンとの商品性比較をしました ～JA高知県土佐市メロン品質査定会～



県内外産地メロンの商品性等を確認する栽培農家

12月3日、JA土佐支所メロン部会は、県内外競合産地のメロンを取り寄せた品質査定会を開催し、役員ら6人が参加しました。12月はクリスマスやお正月に向けてメロンのギフト需要が高まる重要な時期で、他県産地の出荷も増加してきます。農業改良普及課も役員らとともに査定を行い、品質について確認しました。

生産者は、有名ブランドの県外産地メロンの素晴らしさを実感し、改めて消費者ニーズに応え信用を高めて産地の振興につなげることが大切だと再認識しました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、土佐市ブランドのメロンとして消費者から一層信頼される産地を目指し支援していきます。